



**HITACHI**  
Inspire the Next

# 日立グループ 環境ビジョン2015と第2期環境戦略

 株式会社 日立製作所

代表執行役 執行役副社長  
執行役常務

住川 雅晴  
福山 裕幸



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

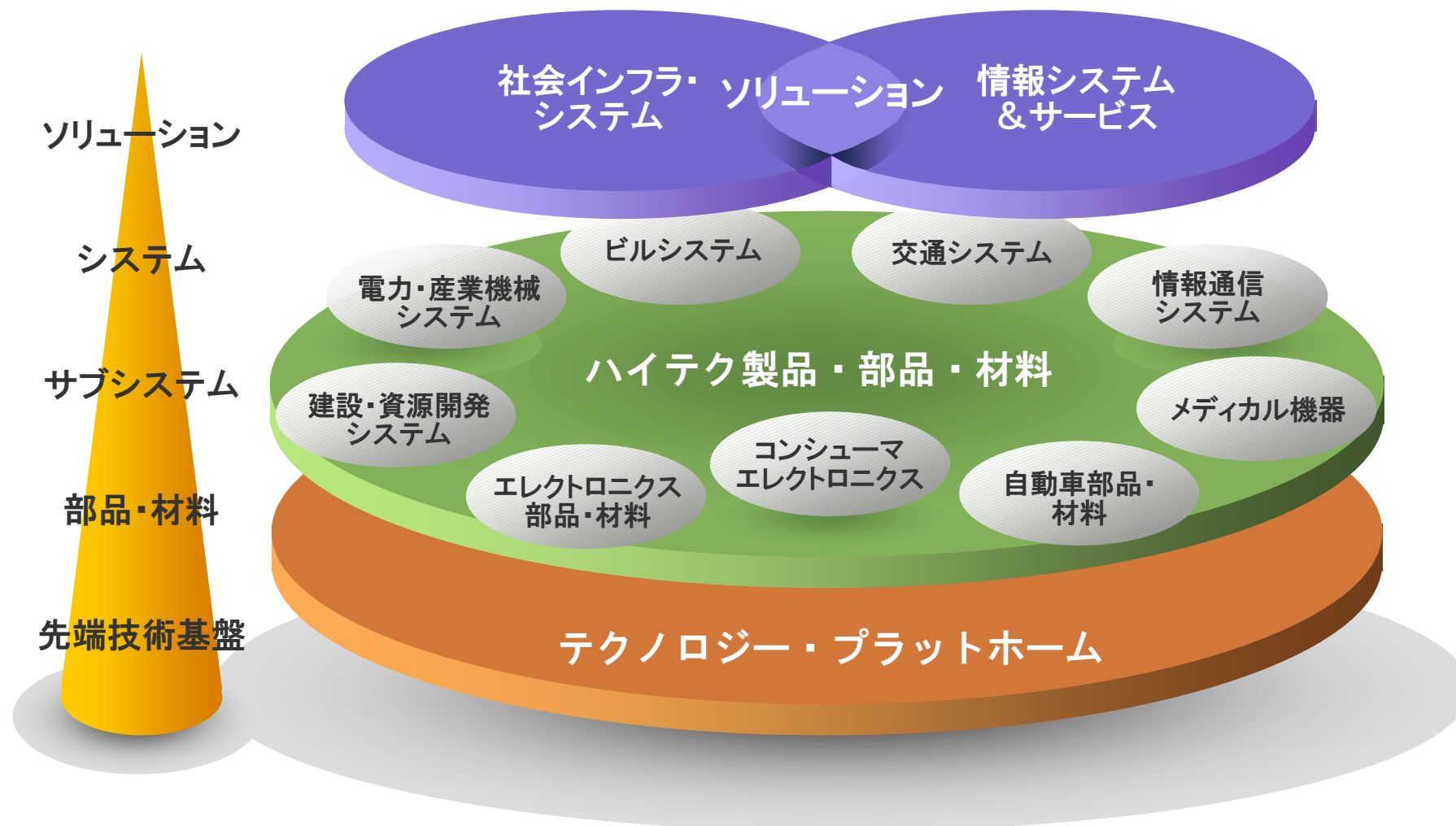
**HITACHI**  
Inspire the Next



# 01

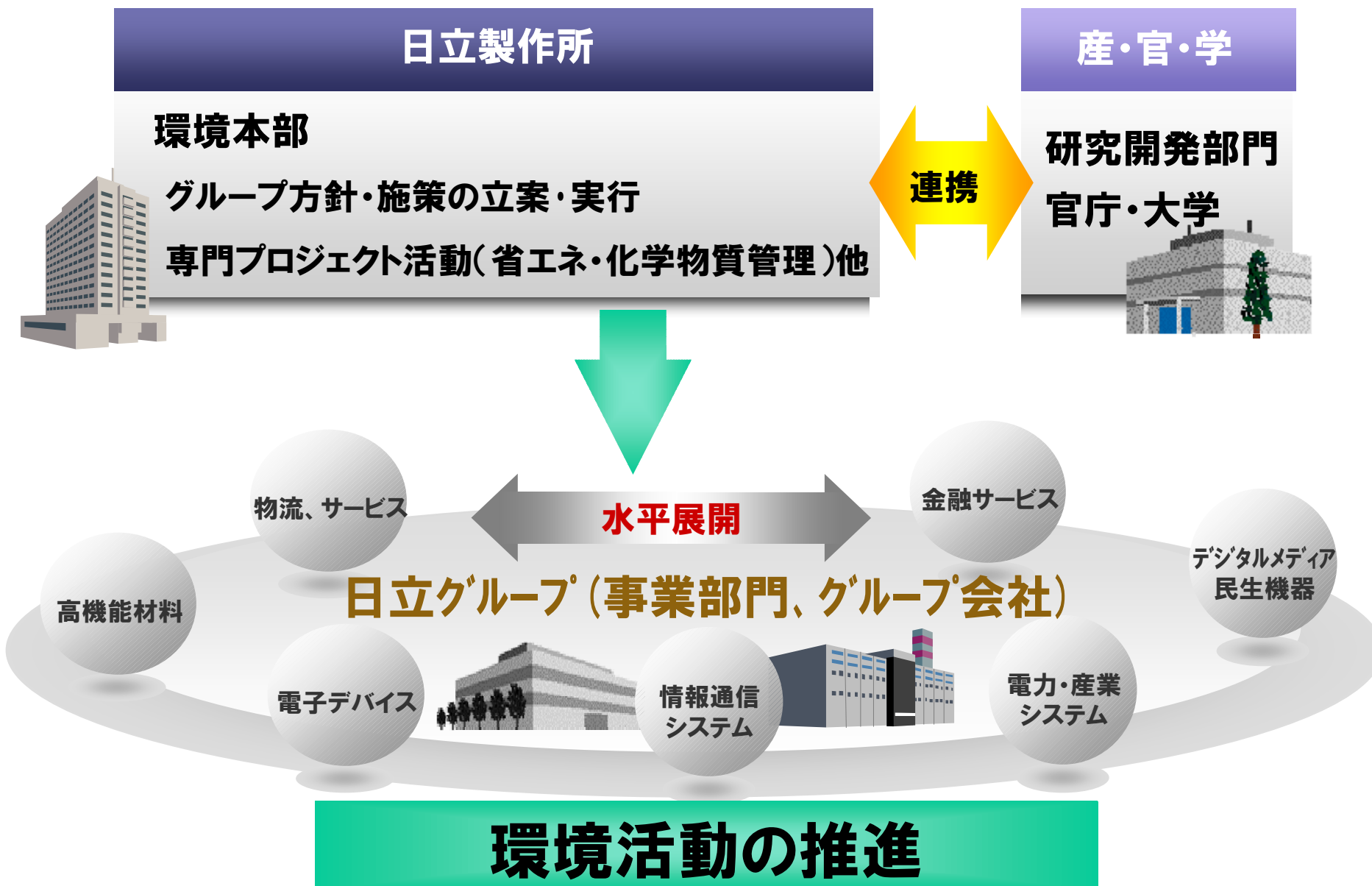
## 日立グループ環境ビジョン2010 及び第1期環境戦略の結果

# 1-1 日立グループの事業概要



材料～部品～製品にわたる一貫した事業を展開

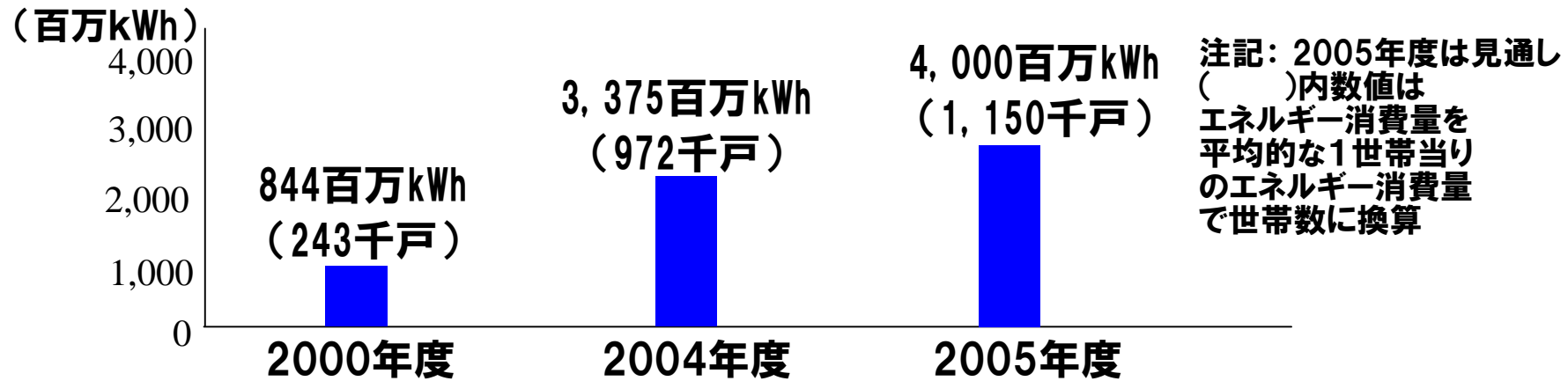
# 1-2 日立の環境活動



# 1-3 第1期 環境戦略の成果(見通し)(1/2)

## 製品の環境負荷低減

### ●製品のお客様使用時におけるエネルギー消費量削減



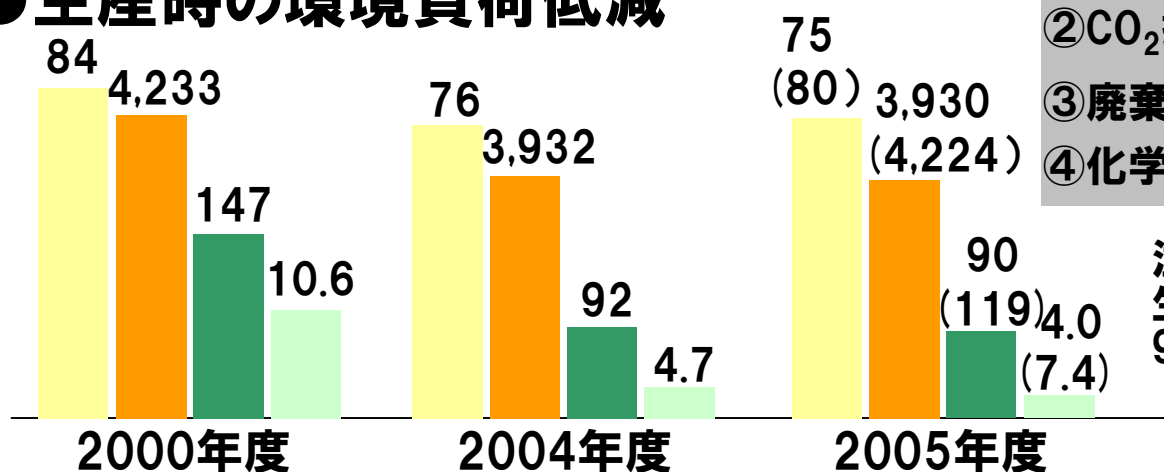
### ●環境適合製品: 3,765機種 (2005年度)

事業部門名	情報通信システム	電子デバイス	電力・産業システム	デジタルメディア・民生機器	高機能材料
製品 (機種数)	933	141	1024	939	728
例	 大型ディスクアレイサブシステム	 臨床検査用装置	 H25 ガスタービン	 プラズマテレビ	 異方導電フィルム

# 1-4 第1期 環境戦略の成果(見通し)(2/2)

## 生産サイトの環境負荷低減

### ●生産時の環境負荷低減



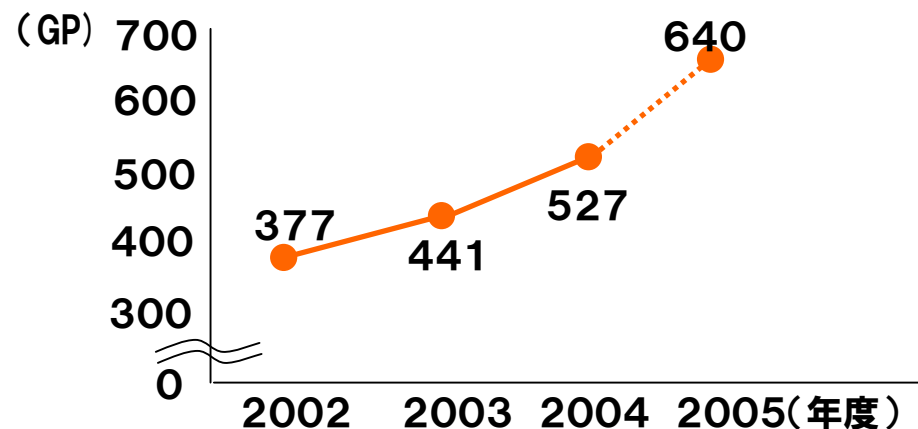
- ①生産高CO<sub>2</sub>排出原単位(%) (90年度比)
- ②CO<sub>2</sub>排出量(kt-CO<sub>2</sub>)
- ③廃棄物最終処分量(kt)
- ④化学物質排出量(kt)

注記: 2005年度は見通し、  
生産高排出CO<sub>2</sub>原単位は  
90年度比(国内)で記載

( )内は目標値

### ●環境活動全体の評価結果(GREEN 21活動)

#### グリーンポイント(GP)実績・見通し



# 1-5 製品含有化学物質管理対応

## (1) RoHS指令対応完了済

- ・日本市場向けについても2006年6月末までに全製品完了。(対象約70製品)

## (2) 製品含有化学物質一元管理システムの展開状況(2006年2月現在)

- ・取引先ユーザー数 : 1610社
- ・部品登録件数 : 15万件

	モノづくり形態	～'05/6	～'06/3	～'06/6	～'07/3
RoHS対象	代表モデル ・RAIDシステム ・家電品 ・磁気テープ	仕組み構築	グループ会社展開		'06/7 RoHS指令 施行
	・デジタルメディア ・電動工具 ・電子デバイス	仕組み構築	グループ会社展開		
RoHS対象外			仕組み構築・展開		

**HITACHI**  
Inspire the Next



# 02

## 環境ビジョン2015と 第2期環境戦略



## Pioneering Sustainability 持続可能社会への開拓

## エミッションニュートラル

地球市民の一員として将来世代の可能性を育みつつ、  
革新的な取組をグローバルに推進し、次世代製品とサービスを開拓します

### Next generation Products & Services

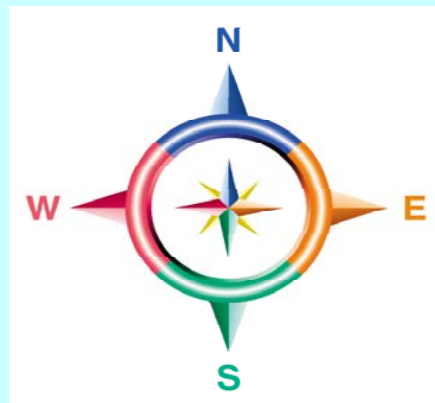
#### 次世代製品とサービスの提供

持続可能な社会の構築に貢献する競争力の高い  
製品とサービスの革新を続け、新しいビジネスモデルの  
展開に挑戦する

### Worldwide Environmental Partnerships

#### ステークホルダーとの環境協働

世界で、環境コミュニケーションを強化  
すると同時に、目的と成果を明確にしつつ、  
積極的にステークホルダーとの具体的な  
パートナーシップを実現する



### Eco-mind & global environmental Management 環境マインド&グローバル環境経営

グループ全体において、先進的な環境  
マインドとそれを行動に変える力を醸成し、  
グローバルに機能する管理・評価システムを  
構築・運用する

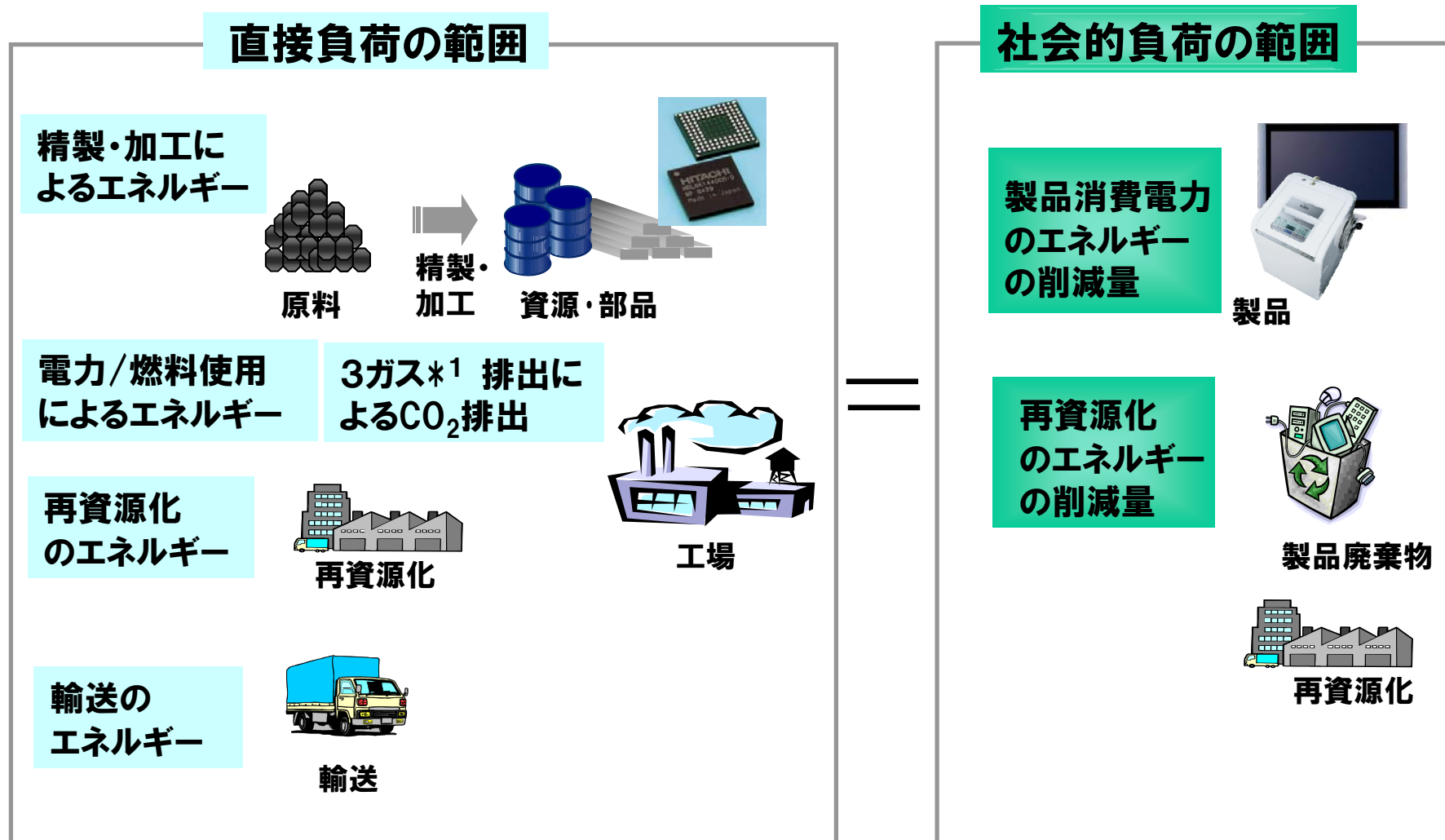
### Super Eco- factories & Offices

#### 環境に高いレベルで配慮した工場とオフィス

地球温暖化防止活動を徹底し、資源循環の  
ための取り組みを進めると同時に、環境に配慮  
した拠点づくりを推進する

## 2-2 エミッションニュートラルの考え方(1/2)

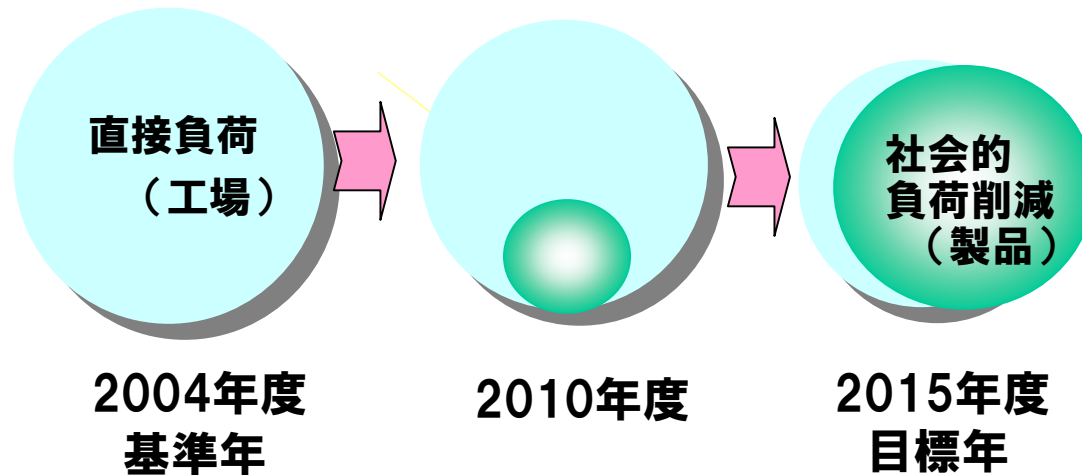
素材～生産～輸送～廃棄までの直接負荷を製品による社会的負荷の削減量とイコールにする。



\* 1 : PFC,HFC,SF<sub>6</sub>の温室効果ガス  
Copyright © Hitachi, Ltd. 2006 All rights reserved

## 2-3 エミッションニュートラルの目標と考え方(2)

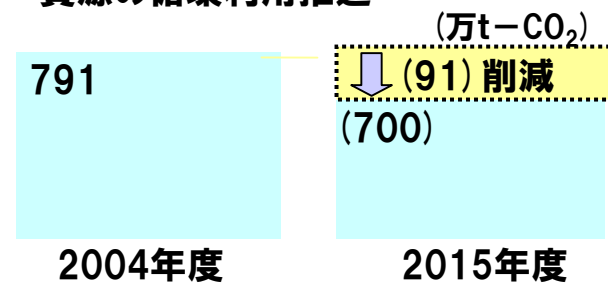
### エミッションニュートラルの考え方



- ① 定義:  
製造時の直接負荷を製品による社会的負荷の削減量とイコールにする。
- ② 考え方:  
エネルギー等をCO<sub>2</sub>に換算して評価

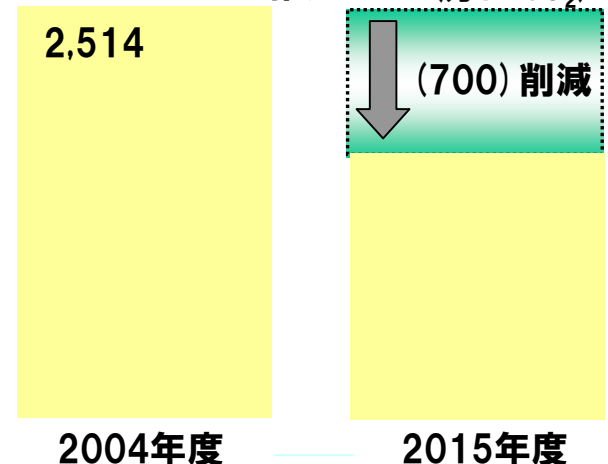
#### 直接負荷削減 (工場)

- ・スーパーエコファクトリーの展開
- ・省エネ徹底・輸送省エネの全社推進
- ・資源の循環利用推進



#### 社会的負荷削減(製品)

- ・スーパー環境適合製品の展開
- ・エコデザインの推進



<国内事業における試算(2004年)>

## 2-3 ロードマップ(1/2)

	2006年	2010年	2015年
E 環境マインド & グローバル経営	環境推進機構EMS へのISO14001 適用	事業グループ/ グループ会社別 統合EMS	サプライチェーン データ一元管理
	環境会計の 内部活用推進	グローバル環境経営 グループシナジー 効果の向上	
N 次世代製品と サービスの提供	スーパー環境適合 製品の登録	スーパー環境適合 製品 30%以上	環境評価範囲の 拡大(社会的LCA)
	環境適合製品80%	環境適合製品 100%	

## 2-4 ロードマップ(2/2)

	2006年	2010年	2015年
<b>S</b> 環境に高いレベル で配慮した工場 とオフィス	スーパーエコファク トリーの登録	スーパーエコファク トリー 30サイト	エミッションニュートラル ファクトリーの実現
	CO <sub>2</sub> 生産高原単位 削減	CO <sub>2</sub> 生産高原単位 25%削減(90年比)	
<b>W</b> ステークホルダー との環境協働活動	我が家の環境大臣 事業展開	環境社会貢献活動 グループプログラムの展開	ステークホルダー との環境協働活動
	会社、地域ごとでの 環境タウンミーティング	ボランティア活動 への社員への 積極的参加	

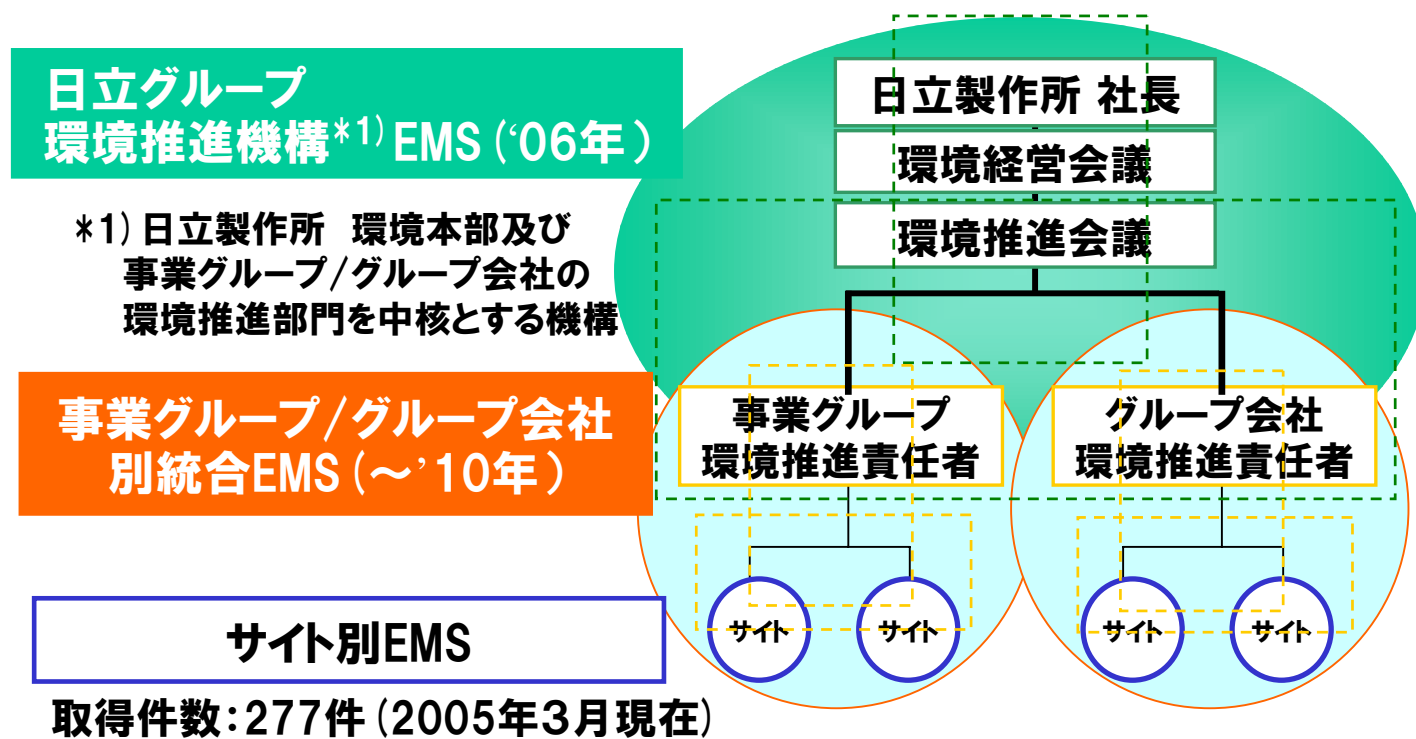
# 2-5 E 環境マインド & グローバル経営 日立グループ環境推進機構ISO14001適用

日立グループEMSへの  
ISO14001の適用



- a) グローバルマネジメントレベルの継続的向上
- b) 第三者評価による客観的な活動評価

- 〈対応〉 ① 日立グループ全体の環境活動の統一性確保
- ② 業種間の多様性に対応した柔軟性確保



# 2-6 N 次世代製品とサービスの提供 スーパー環境適合製品

グローバルな環境配慮設計  
持続可能社会に貢献する製品の開発

環境適合製品

環境適合設計  
ファクター

スーパー  
環境適合製品 (\*)  
(ファクター10)

ファクターとは...

生活価値

質の向上

環境への影響

小さくする

2.5型ハードディスクドライブ (HDD)



ファクター10

環境への影響(資源、消費エネルギー)  
に対する生活価値(製品機能)を10倍に

温暖化防止ファクター: 14.5  
資源ファクター: 11.9  
(2000年度比)

(\*) スーパー環境適合製品とは:ファクター10/業界トップ/社外評価 copyright © Hitachi, Ltd. 2006 All rights reserved

# 2-7 N 次世代製品とサービスの提供 スーパー環境適合製品拡大の施策

HITACHI  
Inspire the Next

① 評価方法充実による遵法性・容易性の確保  
・環境適合設計アセスメントにて  
製品質量、消費電力等を入力し、  
ファクター算出

② グループ内登録・表彰制度構築による  
インセンティブの強化

③ 社外評価による信頼性・透明性の確保

・LCA学会・環境効率フォーラム等で発表  
・エコリーフ(環境情報提供)\*等の活用

	A	B	C	D	E	F
1	製品の基礎データ入力					
2	「11.環境データシート」に必要なデータ入力はこのシート:					
3						
4	入力するセル	の色				
5	計算結果・参照					
6						
7						
8						
9		製品名称	〇〇			従来機種 YYY
10	No.	項目				(A)
11	1	製品機能	洗濯容量	リットル		4.5
12			洗浄力			0.83
13	2	定格内容積		[L]		485
14	3	ドア数				5
15	4	外形寸法	幅			675
16			高さ			1,770
17			奥行			698
18	5	C. E. R. (内容積効率)		[%]		55.8
19	6	製品質量		[kg]		89
20	7	消費電力量*	(JIS C9801)	[kWh/月]		400
21	8	騒音		[dB]		22
22	9	素材構成	ステンレス			1.07
23		金	ステンレス			1.66
24			銅及びその合金			34.50
25		属	アルミニウム及びその合金			0.82
26			電磁圧縮機			10.30
27			塗装			40.95

製品環境情報  
Product Environmental Aspects Declaration



データプロジェクト (適用PSG番号: AG-03)

No. AG-06-024

HITACHI  
Inspire the Next

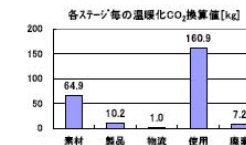
PJ-TX200J

株式会社 日立製作所  
<http://www.hitachi.co.jp>

お問い合わせ先  
デジタルメディア事業部  
環境推進センター  
電話番号: 045-866-6104  
FAX 番号: 045-866-5996  
[eco.dn@hitachi.co.jp](mailto:eco.dn@hitachi.co.jp)

1. 方式:LGP  
2. 輝度:1200 ANSI lm  
3. 画素数:921,600ドット(1,280x720)x3  
リアル解像度:720P

	全ステージ合計
温暖化負荷 (CO <sub>2</sub> 換算)	244.2 kg
酸性化負荷 (SO <sub>2</sub> 換算)	0.36 kg
エネルギー消費量	4,943MJ



お客様の使用期間を5年間、1日あたり3.5時間  
年間100日使用時の環境負荷を算出しています。

※(社)産業環境管理協会の製品環境情報

Copyright © Hitachi, Ltd. 2006 All rights reserved



# 2-8 S 環境に高いレベルで配慮した工場とオフィス スーパーエコファクトリー

再生可能エネルギーの活用・化学物質管理、資源循環実施の先進的な  
取り組みを実施している環境配慮型工場⇒ 目標30サイト（2010年度）

エネルギー

工場省エネルギー

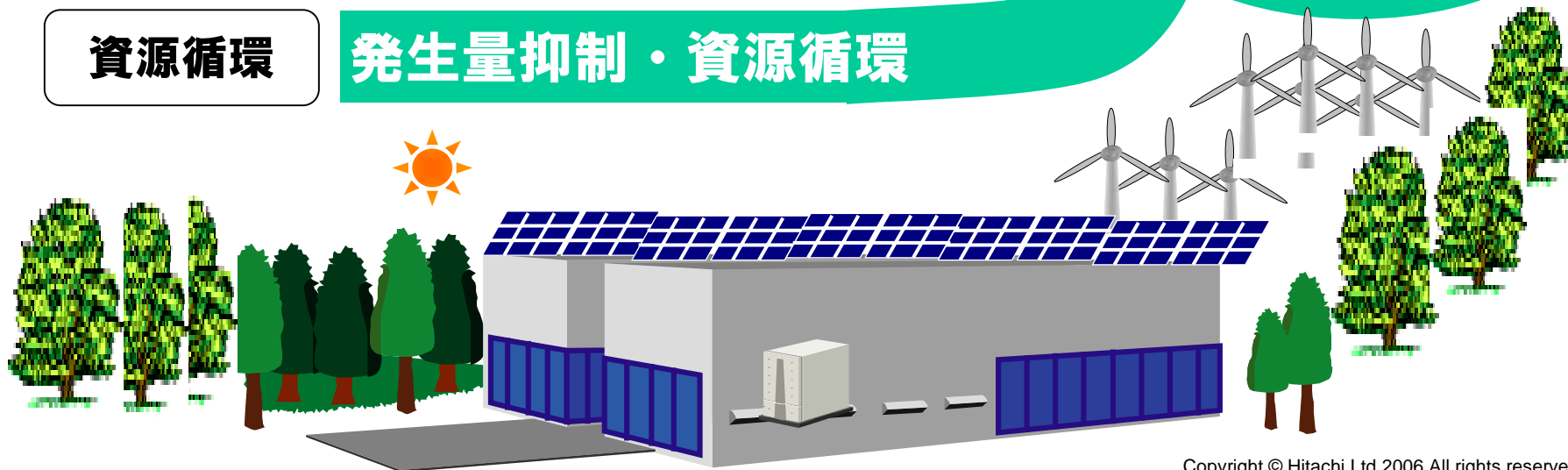
化学物質

排出量削減・P R T R

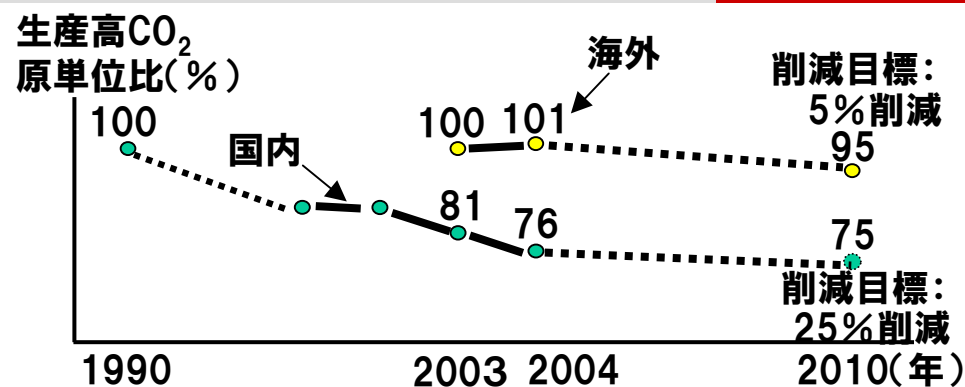
資源循環

発生量抑制・資源循環

スーパー  
エコファクトリー



目標(2010年度)  
生産高CO<sub>2</sub>原単位25%削減  
(1990年比 国内)



## 具体的な施策

- 1.日立省エネ設備・製品・技術のグループ内展開
  - ・エネルギー生産の効率化:ESCO事業(電機グループ)
  - ・エネルギー利用の効率化:メタルハライドランプ(日立ライティング)
  - ・エネルギー回収の効率化:排熱回収発電(バブコック日立)
- 2.本社省エネコンサルグループの活用
  - ・2004年度 10回実施、2005年度～ 継続実施
- 3.エネルギー転換(重油⇒LNG)によるCO<sub>2</sub>削減

## 具体的な施策

- ・メタルハライドランプ導入



消費電力半減  
(水銀灯比)

# 2-10 S 環境に高いレベルで配慮した工場とオフィス 輸送の省エネルギー活動

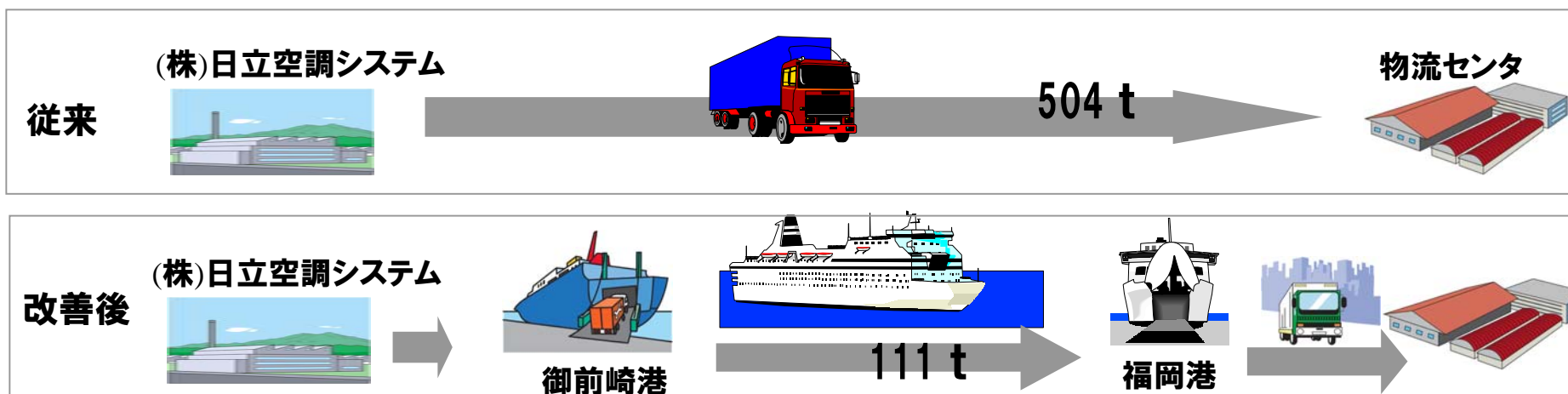
目標(2010年度)

エネルギー原単位 10%向上(2000年比) エネルギー原単位:  $\frac{\text{輸送エネルギー}}{\text{生産高}}$

## 具体的施策

1. 製品から廃棄物まで含めた幅広い輸送省エネのグループ展開(2006年～)  
モーダルシフトの推進
2. 輸送データの精度向上と省エネ計画フォロー  
輸送省エネガイドライン策定・新データ収集開始・(経産省)試行事業参加

例: モーダルシフト(トラック輸送⇒RORO船) 78%削減



# 2-11 W ステークホルダーとの環境協働 地球市民活動(学びから実践へ)

## 1. 従業員と家族のエコライフ推進

パンフレット20万部配布

(日立グループ従業員向け情報誌  
「NANNOKI」に同封)

「我が家の環境大臣事業」への参画

1.8万人(07年度目標)



家庭でのエコライフ推進

## 2. 環境分野の社会貢献活動の推進

・自然保護活動:

植樹/森林保全活動(バブコック日立・日立ハイテクノロジーズ実施中  
→2006年～グループプログラムの開始)

・教育分野の支援プログラム:

従業員ボランティアによる学習プログラムの地域・学校への提供  
(ユニバーサルデザイン・ITを実施中→2006年～環境分野に拡大)

**HITACHI**  
Inspire the Next 